

# 中央公民館はどうなるのか？

## 市民文化活動の場所を確保することは必要

沼田市には341の公共施設があり、総床面積約30万㎡を保有し、一人当たりの面積は全国平均を上回り、10年後には約9割の施設が大規模改修が必要となることから、公共施設の在り方が検討されています。

中央公民館は、建設から今年で39年目となり、今後改修に多額な費用がかかることが見込まれていることから、検討がすすめられています。

中央公民館は新年度も利用できますが、市民文化の活動場所を確保することは、これからも必要です。



## 市議会の役割、議員定数などについて市議会が研修会

沼田市議会は3日、山梨学院大学大学院法学部の江藤俊昭教授を講師に「地方議会のめざすべき姿 —住民自治の根幹としての議会の作動—」と題した研修会を開きました。



江藤教授は議会の役割について、地域経営にとって重要な権限が議会にあり、「住民自治の根幹」であることを示し、議員定数は人口で決めるのではなく、多様な意見の反映や住民自治などの視点が必要と指摘しました。

## 第21回柳波賞の表彰式がおこなわれます

第26回沼田市生涯学習フェスティバル・第49回公民館まつりが9日まで、中央公民館で開催され、9日には第21回柳波賞の表彰式がおこなわれます。

今回の柳波賞は、「ほおずき」（新妻昭光氏 福島県いわき市）が受賞しました。

今回の柳波賞には、45都道府県から1,506作品の応募がありました。



## 明るく元気で未来社会を示した党大会の様子を報告

日本共産党第28回大会に参加した大東議員は、利根沼田地区委員会事務所で2日、報告会をおこないました。

報告会では、大会の様子を写真使ったり、他県の代議員との交流、代議員の発言などを紹介しながら、新しい社会をめざす全国各各地の活動などを紹介し、明るく元気で、未来社会が示された党大会だったと紹介しました。



2020年2月9日

NO. 639

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



「緊急事態条項」の創設を求める人たちは、新型コロナウイルスに対する国民の不安に便乗して不安感をあおり、憲法と無関係なことを憲法と結びつけているだけです。新型コロナウイルス拡大に乗じた「緊急事態条項」創設は、国家権力制限規範である憲法を人権制限規範にするという自民党の憲法観そのものです。

「緊急事態条項」の創設を求める人たちは、新型コロナウイルスに対する国民の不安に便乗して不安感をあおり、憲法と無関係なことを憲法と結びつけているだけです。新型コロナウイルス拡大に乗じた「緊急事態条項」創設は、国家権力制限規範である憲法を人権制限規範にするという自民党の憲法観そのものです。

こんにちは 大東のぶゆき です



## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その四十九

### 七本松

砂川の集落から砂川橋を渡り、林道を多那方面へと上っていくと、畑の手前に松の木が6本ある平らな場所にでます。



七本松とよばれる松の木で、昔は7本の松の木がこの辺りにあったそうです。

沼田城の奪還をめざし、女淵城（旧粕川村）を出発した沼田景義平八郎もこの場所を通り沼田に向かったともいわれています。

今ではこの辺りには畑が広がり、高原野菜の一大産地となっています。

### 高戸谷の十二様

国道120号の吹割大橋の高戸谷側の遊歩道入り口に十二様が祀られ、今も地元の人や観光客の人たちがお参りする姿が見られます。



関ヶ原の戦いのとき、西軍の上杉勢の侵攻に備えるため、高戸谷と追貝をつなぐ橋が架けられたといわれ、この十二様もそのころに建てられたといわれています。